

平成31年3月1日

保護者 様

田村市立都路中学校長 田中 淳一

平成30年度 後期学校評価結果のお知らせ

早春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動へのご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、後期学校評価の集計結果概要についてお知らせいたします。生徒及び保護者の皆様からのご意見を今後の学校経営・運営に生かしてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

◎ 保護者及び生徒アンケートの主な結果と今後の対応

保護者及び生徒アンケート集計結果の一覧は、別紙のとおりです。

(A:よく当てはまる、B:やや当てはまる、C:あまり当てはまらない、D:まったく当てはまらない)

- (1) 「楽しく学校へ通っている」のA・Bの割合は、保護者・生徒ともに9割程度である。今後は、C・Dと回答した生徒への個に応じた対応・支援をするとともに、めざす学校像（志を育む学校、学び合い高め合う学校、信頼され愛される学校）の具現化を図る取組を継続したい。
- (2) 「将来の目標や志をもっている」のA・Bの割合は、保護者・生徒ともに8割程度、「地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある」のA・Bの割合は、保護者・生徒ともに7割程度、「授業や部活動で学んだことを、他の学習や普段の生活に生かしている」のA・Bの割合は、保護者8割・生徒9割程度、「学校は、地域の未来を担う人材になるために必要な資質・能力を、子どもたちに育成している」のA・Bの割合は、保護者9割程度、「学校は、保護者や地域と協働関係を築いて、教育活動を行っている」のA・Bの割合は、保護者9割程度である。今後も、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる基礎的人間力、情報処理力（知識・技能）、情報編集力（思考力・判断力・表現力等）を育むために、多様な主体（学校・家庭・地域・関係機関・NPO・企業等）の強みを生かしたキャリア教育を柱として、学校経営・運営をしていきたい。
- (3) 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」のA・Bの割合は、保護者8割・生徒7割程度である。今後も、「成功の反対は、失敗ではない。成功の反対は、挑戦をしないことである。」という教育理念のもと、チャレンジを繰り返し、失敗を糧に学ぶことのできる“たくましさ”を育む取組を継続したい。
- (4) 「授業が楽しく、よく分かり、学力が高まっている」のA・Bの割合は、保護者・生徒ともに7割程度である。また、「教職員は、分かる・できる・楽しい授業をするために、努力や工夫をしている」のA・Bの割合は、保護者8割・生徒9割程度である。今後も、学力向上に責任を果たすために、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善に取り組みたい。また、授業以外での発展学習や補充学習の機会を設けて、生徒が主体的に学習できるよう、さらには、個に応じた指導を充実させるようにしたい。
- (5) 「家庭学習に、計画的に工夫しながら取り組んでいる」のA・Bの割合は、保護者・生徒ともに7割程度である。今後は、自己マネジメント力を育むための家庭学習の在り方を、小学校や家庭との連携を図りながら追究したい。
- (6) 「よい友人関係ができていく」のA・Bの割合は、保護者・生徒ともに9割程度である。今後も、学校いじめ防止基本方針のもとに、いじめ等の未然防止、早期発見、早期対応に努めるとともに、本校の強みを生かした縦割り活動や豊かな体験活動の積極的な導入、地域の大人等との交流を積極的に図り、生徒の人間関係形成・社会形成能力を育みたい。
- (7) 「人前で自分の考えや意見を発表することは得意である」のA・Bの割合は、保護者6割・

生徒4割程度である。今後も、各教科の授業はもとより、都路志塾、M1グランプリ、ビブリオバトル等のアウトプット力（発信力）を育む機会を積極的に創出したい。

- (8) 「教職員は、生徒を理解することに努め、一人一人に応じた指導・支援をしている」のA・Bの割合は、保護者・生徒ともに8割程度である。また、「教職員は、連絡や相談がしやすく、対応も適切である」のA・Bの割合は、保護者・生徒ともに8割程度である。さらには、「学校は、子どもたちのトラブルや問題に迅速・適切に対応している」のA・Bの割合は、保護者9割程度である。今後も、個に応じたきめ細かな学習指導、生徒一人一人を伸ばす積極的な生徒指導、家庭や地域、関係機関との連携・協力のもと、諸課題の未然防止と早期発見、早期対応を行い、解決に努めたい。
- (9) 「学校は、経営・運営方針や様々な取組（方策）について、分かりやすく説明している」のA・Bの割合は、保護者9割程度である。また、「学校は、お知らせやホームページで、タイムリーに分かりやすく情報を提供している」のA・Bの割合は、保護者9割程度である。今後は、生徒・保護者の皆様が一層理解しやすい言葉・形式で伝えることに努めたい。
- (10) 生徒・保護者の皆様からいただいた、本校の教育活動に関する貴重なご意見を生かして、学校・家庭・地域等がそれぞれの役割に応じて、様々な課題に協働的に取り組むことができるようにしたい。